

第53回日本赤十字社医学会総会報告

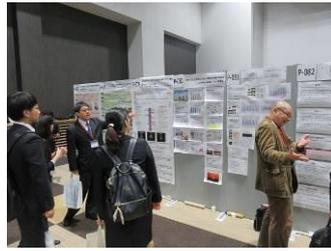
石巻赤十字病院 放射線技術課 画像情報管理係長 鎌田賢治

第53回日本赤十字社医学会総会が平成29年10月23日（月）～24日（火）の2日間、宮城県仙台市の仙台国際センターで開催されました。

当院が担当施設でありましたが、例年と違い月曜日と火曜日開催であることと、前日から当日にかけて大型の台風21号が宮城県を直撃し交通機関に影響がでたことで、「参加者が少なくなるのでは」と危惧しておりましたが、実際は全国から2000名以上もの参加を頂き、非常に活気ある学会となりました。

今回は前日の10月22日（日）に、日本三景の一つである松島や秋保、鳴子などの観光地や温泉を巡るコンベンションツアー、東日本大震災最大の被災地である石巻を回り当時の状況を振り返る被災地視察プログラム、前日に仙台入りされる参加者には東北のB級グルメを味わえる前夜祭が開催されました。特に前夜祭では180名以上参加され、東北6県の地酒・郷土料理に舌鼓を打ち、楽しんで頂けたようです。





学会1日目の午前は放射線技術部門のポスター発表がありました。私は座長を担当させて頂きましたが、皆様、非常に興味深い発表をされておりました。質問や情報交換も活発に行われ、とても良い雰囲気です。終わることができました。

午後は他の職種の興味があった発表を拝聴しました。どのセッションも実際の運用に即した発表をされており、非常に参考になる有意義な時間となりました。私自身、日赤医学会に何度か参加させて頂いたことがありますが、本学会は他職種の発表を聞けることが良い所の一つだと思っています。放射線技術関連の学会、

勉強会に参加することは多々ありますが、なかなか他職種の学会等に参加することは多くありません。他職種の文化に触れるチャンスでもあり、いつもと違った刺激を受けています。

また1日目の午後には特別講演Ⅰとして、自然写真家の高砂淳二氏より「夜の虹との出会い」と題してご講演頂きました。高砂氏はこれまで90カ国以上の国を訪れ、海の中から生き物、風景、星空まで地球全体をフィールドに撮影活動を行われています。講演ではハワイでの夜の虹との出会い、ハワイアンに伝わる知恵を写真とともにお話頂き、綺麗な写真に癒されながらも生命の尊さについて改めて考えさせられました。



その後、特別講演Ⅱとして株式会社ヴィジョナリージャパン代表の鎌田洋氏より「～ディズニーからの贈り物～『ありがとうの数だけ幸せになれる』」と題してご講演を頂きました。鎌田氏は「ディズニー ありがとうの神様が教えてくれたこと」等の著者で有名であります。ディズニーの夜の掃除から学んだディズニー哲学やディズニーの教育プログラムをユーモアあふれるトークでお話頂きました。自らの仕事への誇りを持つことの大事さを再認識させられた講演でした。



1日目の終わりには恒例の「医療人の集い」が行われました。私はあいにく参加できませんでしたが、伊達武将隊の演技や皆様ご存知の牛タンや笹かまをはじめ、フカヒレ、サンマ、牡蠣、ホヤなどの三陸の海の幸や、日本屈指の米どころ東北の、「ササニシキ」や「ひとめぼれ」などの美味しいお米、日本酒が振舞われたようです。それにしても圧巻の日本酒の種類！！不参加が悔やまれます。夜には台風も過ぎ去り、仙台の夜の街を満喫して頂いたのではないのでしょうか。



2日目は放射線技術部門Ⅰ、Ⅱの口演発表がありました。1日目のポスター発表に引き続き、皆さん様々な視点から研究、評価されており非常に勉強となりました。多くの意見交換がされ、活気あるセッションとなっていました。

大型台風 21 号が直撃し波乱の幕開けとなった今回の日本赤十字医学会総会でしたが、前日の被災地視察プログラム、前夜祭を含め充実した3日間となりました。

次回は中部ブロックの名古屋第一赤十字病院が御担当となります。関係皆様のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。